

指定管理者最終総合評価

江戸川区立希望の家			
評価項目		評価理由	
1	施設運営に関する事務	生活介護は、個別の困難事例について関係機関と連携し、利用者の家庭環境全体に目を向ける等その課題解決に良く努めた。グループホームコーディネーターは、連絡会を組織し事業者間の連携に尽力した。昨年度より開始した医療的ケア児コーディネーターは、コロナ禍の中、対象の全家庭に連絡を取り保護者の声を区に届け、新たな支援の必要性を代弁した。	
2	利用者サービスに関する事務	コロナ禍の中、地域の保育園や福祉施設と連携し「新川風のアート」として、利用者と地域の方の接点に努めた。保護者会の意見を把握し、連携して利用者の生活の向上に努めている。満足度調査の評価も高い。	
3	施設の維持管理に関する事務	本館室外機の経年劣化による騒音解消のため、利用者の通所環境に苦心しながら対応した。近隣との調整にも良く努めた。	
4	経理管理等に関する事務	報告類の提出は迅速かつ適切であった。再委託としている送迎バス業務についてもよく状況を把握している。区への報告は、常に細やかで迅速であった。	
5	当初提案の計画に対する目標の達成	概ね達成されていた。	
評価点		配点	得点
		120	113
		得点率	
		94%	
総合評価	【講評】		
A	生活介護と就労支援の利用者を合わせて150名を超え、かつ様々な障害を持つ方々が通う中、それぞれ適切な支援を行い、安心、安全な施設運営が実施された。令和2年度からの福祉避難所指定に伴い、その任務を適切に理解し避難者受け入れのための訓練も実施している。グループホーム及び医療的ケア児のコーディネーターも区内全体を把握し信頼が置ける。一方、就労支援部門は、利用者の高齢化と民間事業所に比べて障害区分の重い方が通う中で、工賃向上に向けた課題はある。		

総合評価の基準（得点率）

A：90%以上、B：70%以上90%未満、C：50%以上70%未満、D：40%以上50%未満、E：40%未満